



～ 理解と協力をお願いします !! ～

浦添高校は「自主・勤勉・協調」を校訓に職員、生徒及びPTAなど一丸となって夢実現のために頑張ってきました。その甲斐あって生徒の活躍たるやめざましく、県内外の大会やコンクール等で素晴らしい成績を残しています。このような活躍は県内の中学校から高く評価され、志願倍率も高倍率を維持しています。

今年度の始めに「凡事徹底」に努めていきましょう」と唱えてきましたが、頭髪の違反、お化粧、シャツ出し、スマホの校時中の使用など先生方を悩ましています。ほとんどの生徒は指導に対して改善に向けて努力してくれます。しかし、最近とても気になることがあります。それは、呼び出しに応じない生徒がいるということです。このことは浦高生として絶対にあってはなりません。まさに基本中の基本だと考えています。



浦添高校は約1,200名の生徒が学校生活を共有する公共の場所です。1,200名の個性の集まりで、それぞれの考え方の違いや価値観の違いがある中で学校生活なのです。誰も自分の思い通りに生活したいと思うのが当たり前ののですが、そうすると様々なぶつかりや混乱が生じてしまいます。そのような事を避けるためルールをつくりお互いで守る必要があるのです。

最近マスコミで「ブラック校則」という記事をよく目にします。「えっ！こんな校則があるの？」と思わず目を疑うようなものも確かにあります。しかし、学校の校則のほとんどがおかしいという考え方は違うと思います。若者は流行に敏感です。それは理解できますが、そこに興味が行き過ぎると学校生活への影響も出てきてしまいます。数年前の「制服ミニスカ時代」を覚えているでしょうか。社会問題となり、沖縄県の先生方がその改善のためにどれほど苦しみ、どれほど努力してきたか。 校長

●自分探しの旅●

自学自習を頑張りたい生徒に“自学自習ノート”を配布しています。もらいに来る生徒と話をするのがとても楽しみです。

その時にいろいろと話をします。将来の進路や就きたい職業のことなど夢を語る時の生徒のみなさんはほんとうに輝いています。しかし、まだ方向性が決まらず漠然と頑張っている生徒も中にはいます。自分でもどうしていいのか分からないもどかしさは、私も経験したのでよく分かります。

目標がはっきりしている人は幸せです。その実現のため、ひたむきに努力していけばいいのです。ところが、はっきりしない人はモヤモヤして今ひとつ気が入りません。しかし、だからといって放っておくと時間だけが過ぎて何も変わりません。

この状況を打破するには、より具体的に情報を集める必要があります。調べていくうちに知識が広がり、今まで見えなかったものが見えてくるはずですよ。

さあ“自分探しの旅”を始めましょう。応援しています。 校長

*** 校長雑感 ***

先日「ボヘミアン・ラブソディ」を見てきた。公開から何ヶ月も経っているのに映画館は満杯だった。客層を見るとほとんどが私よりも年齢が上か同じくらいの人たちだった。久しぶりに“いい映画に出会えた”と感じた。特にQueenのファンではなかったが映画で流れてる音楽は聞き覚えのあるものだった。まだ見ていないなら見た方がいいよ。きっと感動をもらえるよ。

～～～ 時の言葉 ～～～

「私は、神様は乗り越えられない試練は与えない、自分に乗り越えられない壁はないと思っています。」



池江 璃花子 (水泳選手)

自ら白血病を公表し、世界中の激励に対しツイッターで応えた言葉。誰もが耳を疑ったこのニュースは世界中の人々に衝撃を与えました。東京オリンピックの女子水泳選手として活躍が期待された中で、18歳の彼女に与えられた試練はあまりにも大きいものです。しかし、池江選手は「必ず戻ってきます」と逆に心配している人々をいたわり勇気づけています。 校長

～ 観劇し感激！ ～

23日(土)に本校体育館で演劇部卒業公演がありました。3年生にとっては最後の学校での公演で気合いの入りが凄かったです。

1・2年生の「鏡うつし」はミステリアスな脚本を役者が見事に演じました。また、3年生の「これから。」は2名の役者の掛け合いが絶妙で、これまで培った演技力は“本当に高校生か”と思わせるものでした。1・2・3年生劇の「終わりのおはなし」は演劇部総力を結集しての作品で、内容的にも深みのあるものでした。

役者のみならず、演劇部スタッフの支えがあった公演でとても感動しました。浦高生の無限の可能性を感じた1日になりました。

校長